

あそび イベント 南部

MAP



南部地区

豊漁と海の安全を祈願して行われるハーレー(ハーレー)は、500年以上前に中国から伝わった爬龍船競漕のことで長崎のペロンと同じルーツのものだ。沖縄では毎年各地で繰り広げられており、南部でも糸満市、那覇市をはじめ多くの地域で行われている。豊年満作を祈る綱引きは与那原町、那覇市、糸満市などで行われている。中でも那覇大綱挽は大勢の観衆が訪れる。人の動きがうねりとなり掛け声が頭上を交差する。琉球王朝時代に国王慶賀の行事や中国からの使者を歓待するために行われ370年の歴史を持つといわれており、大綱はギネスブックにも認定される程の大きさを誇っている。



【カシキー行事】

新穀の豊穰を歡喜する刈上げ祝。豊作の感謝と来年の豊作を祈願するとともに若者の栄えを祈願する行事である。本島に住む村出身者も多数参加して夜更けまで歌や踊りを楽しむ。(渡名喜村)



【ミーミンメー】

旧暦4月1日は、ミルクを先頭に道ジュネーし、色鮮やかなはっぴ姿の子供たちの踊りや青年達の棒術などが披露される。(大里村字古堅)

【大東宮例祭】

毎年9月22日、23日に行なわれる島一番のにぎわいをみせる祭り。初日は御輿で島内を練り歩き、二日目には、奉納相撲が行われ熱戦が繰り広げられる。また、八丈島から伝った大東太鼓は、子供たちによって継承されている。(北大東村)

祭・踊

【波名城の獅子舞】

村の有形文化財に指定されている。(旧暦8月15日)その昔、波名城集落に悪疫が流行したときに人々は、獅子を先頭に集落内を練り歩き、ドラ鐘を打ち鳴らし、悪疫追放の祈願をして、平和をとりもどしたという伝承がある。(具志頭村字波名城)



【唐人行列】

旧暦8月15日の豊年祭に地域が南北にわかれ、北は「唐人行列」、南は「大和人行列」としてあでやかさを競いあう。琉球と中国・大和の交流を再現したものとされているが、起源については定かではない。(東風平町字富盛)



恵み願う 熱き思い。



【糸満ハーレー】

旧暦5月4日。糸満市のハーレー鉦が鳴ると、沖縄の梅雨が明けるといわれる。14世紀に中国から伝わった航海の安全と豊漁を祈る海人(うみんちゅ)たちの勇壮な祭りである。一般的にはハーレーと呼ばれているが、糸満ではハーレーと呼ぶ。(糸満市)

大地の恵み、海の恵みを願う。無病息災を祈念する。村に伝承されるまつりごとは、いずれも地母の人々の生活と深く関わっている。遠い昔から今日まで継々と受け継がれているまつりは勇壮で情熱的であり、人々を勇気づける。

【イザイホー】

12年に1度、午年の旧暦11月15日から5日間にわたって行われる。久高島で生まれた30歳から41歳までの女性が、祭祀集団に入団するための儀式で、久高島の祭りの中でも最も神秘的といわれている。(知念村久高島)



自然と伝統との交流

【与那原大綱曳き】

起源は尚永王代(1573~1588年)からはじめられ、約400年の伝統をもつ。住民の健康と豊作を祈願する大綱曳きは毎年旧暦6月に行われ、町内外から多くの人が集まる。(与那原町)

